

2011年7月21日

## 産業革新機構、ソーシャル楽器ベンチャーの立上げを支援 ～ 新たなアーリー・ステージ・ベンチャーへの投資 ～

株式会社産業革新機構(以下「INCJ」)は、Miselu Inc. (以下「Miselu」)の第三者割当増資を引受け、600万USドルの投資を行うことを決定しました。

Miseluは、米国シリコンバレーにおける複数回の起業経験を持ち、豊富な現地ネットワークを持つ経営陣により、ヤマハ株式会社(以下「ヤマハ」)、株式会社ACCESS(以下「ACCESS」)の協力のもと、Google Inc. (以下「Google」)のAndroidを活用したネット対応型のソーシャル楽器を開発し、これまでの楽器には無かった新たな「楽器演奏体験」を提供することを目指します。同時に、ソーシャルネットワークとの連携やアプリケーション作成キットの公開などにより、ソーシャル楽器のオープンプラットフォーム構築を目指します。

INCJは、初期段階の投資として開発資金を供給するとともに、社外取締役の派遣などにより経営上のサポートを行います。

本件をはじめとして、ソーシャルネットワークやインターネットを活用する類似領域に対して、INCJは積極的に案件検討を行っていきます。

今般、株式会社産業革新機構(以下「INCJ」)(東京都千代田区丸の内、代表取締役社長 能見公一)は、Miselu Inc. (以下「Miselu」)(米国、カリフォルニア州マウンテンビュー市、Founder and CEO 吉川欣也)の第三者割当増資を引受け、600万ドルの投資を行うことを決定しました。

世界の楽器市場は1兆円強で、メイン市場である米・日・欧の先進各国では成熟化が進んでいますが、新興国では今後も成長が見込まれている巨大市場です。国別では、米国が42%、日本が14%と、日米二カ国が市場の56%を占めています。日本企業は高い技術で競争力を維持し、現在も楽器販売では高いシェアを有していますが、ネット対応型のソーシャル楽器については、現時点では市場が形成されていない状況です。

Miseluは、米国シリコンバレーにおける複数回の起業経験を持ち、現地のネットサービスやソーシャルネットワークの企業と豊富なネットワークを持つ吉川氏が2008年に設立したソーシャル楽器の販売を目指しているベンチャー企業です。

Miselu は、ネット対応型のソーシャル楽器という新たなコンセプトの製品を開発します。提携先であるヤマハからは楽器や音楽制作に関連する技術の開発協力を受けます。Miselu は、Android 開発コミュニティの一員として Google の携帯電話用 OS である Android 上で、周辺機器を制御できる開発キット (Android Open Accessory Development Kit) を活用して、ソーシャル楽器の開発を進めていきます。開発に際しては、提携先である ACCESS からのサーバやアプリケーションソフトの開発協力を受けます。

Miselu は、この開発を通じて蓄積されたソーシャル楽器関連の開発資産・ノウハウを提携企業各社とも共有し、新しい音楽の楽しみ方を提案します。

ネット対応型のソーシャル楽器は、これまで楽器を弾けなかった人でも簡単に弾けるようになったり、ネットワークを通じて、いつでもどこでも簡単に演奏を人に聞かせる事ができたり、簡単かつ楽しく、楽器の練習と演奏が行えるこれまでになかった新たな「楽器演奏体験」の提供を目指します。

Miselu は、楽器向けソーシャルネットワークサービス (SNS) を活用したり、アプリケーション開発キット等を公開して外部アプリベンダーを取り込んだ楽器向けアプリ販売を行ったりといったビジネスモデルを採用することを通じて、ソーシャル楽器のオープンプラットフォームの構築を目指します。既に今年 5 月に開催された Google の開発者イベントである Google I/O にて製品コンセプトのデモ展示を行っており、INCJ からの出資をもとに開発体制を強化するなど、量産化に向けた動きを加速します。

INCJ は、シリコンバレーのベンチャーキャピタルと同様の投資形態を用いて、初期段階 (Series A) の投資として開発資金 (600 万 US ドル) を供給します。また、社外取締役の派遣、開発協力体制の構築等により、経営上のサポートを実施します。

INCJ としては、以下の考え方をベースに本件をはじめとする類似領域での積極的な案件検討を行っていきます (アーリーステージのベンチャー企業や大企業からのスピナウト案件などとの連携を想定)。

日本企業は音・映像を記録し再現する際の「本物らしさを実現」するハードウェア技術を追求することで新たなカテゴリーを創り出す事が強みでした。しかし、世界の潮流はデジタル化・ネット化・ソーシャル化の進展により各種ネットサービス、ソーシャルネットワークとの連携・利活用する「共有するネット技術」に

価値基準が変化し、日本の多くの企業はこの新たな潮流への対応が遅れている状況にあります。

INCJではこうした認識を踏まえ、現在の潮流である「共有するネット技術」への対応と、中期的な方向性として「更なるリアル空間のデジタル化」という仮説を持ちつつ、こうした領域に対して積極的に投資検討を行っていきます。

## Miselu Inc. について

Miseluは、ネット対応型のソーシャル楽器などの製造、販売を中心とした事業展開を行っています。Miselu Inc. についての詳細は <http://www.miselu.com/> をご参照ください。

- ・ 設 立 : 2008年4月
- ・ 所在地 : 米国、カリフォルニア州、マウンテンビュー市
- ・ 代 表 : Founder and CEO 吉川 <sup>よしなり</sup> 欣也

## 株式会社産業革新機構(INCJ)について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額8000億円超の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計14件・総額約580億円の投資決定を発表しています。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス・原子力発電等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。(詳細は「別添3」参照)

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株)産業革新機構 企画調整室 檜山・望月

東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 22 階

電 話 : 03-5218-7200(大代表)